講義科目名称：子ども家庭福祉特論　　　　授業コード：34161

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
大橋　和博			

講義概要	①子ども家庭福祉の基盤について理解を深め、そのあゆみを学ぶ。 ②子ども家庭福祉の仕組みや制度についてより深く理解する。 ③子ども家庭福祉を担う人的資源についてより深く理解する。 ④子どもを取り巻く現状や課題について学ぶ。 ⑤子どもを取り巻く現状や課題への対応を考察する。
授業計画	1　オリエンテーション 授業のねらいと進め方および評価について説明する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で児童家庭福祉の内容を把握しておくこと 2　子どもの貧困① 子どもの貧困について講義し、今日的課題についてディスカッションする 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること 3　子どもの貧困② 子どもの貧困に関係するテレビ番組を鑑賞し、感想や意見を交換する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること 4　子どもの貧困③ 子どもの貧困に関係するテレビ番組を鑑賞し、感想や意見を交換する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：レポート作成の準備をすること 5　子どもの貧困④ 子どもの貧困をテーマにレポートを作成し提出する 学習課題　復習：これまでの講義の内容を再度振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること 6　児童虐待① 児童虐待について講義し、今日的課題についてディスカッションする 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること 7　児童虐待② 児童虐待についてさらに講義し、前回とは別の角度から今日的課題についてディスカッションする 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること 8　児童虐待③ 児童虐待に関係するテレビ番組を鑑賞し、感想や意見を交換する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：レポート作成の準備をすること 9　児童虐待④ 児童虐待をテーマにレポートを作成し提出する 学習課題　復習：これまでの講義の内容を再度振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること １０　社会的養護① 施設養護について講義し、今日的課題についてディスカッションする 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること １１　社会的養護② 施設養護に関係するテレビ番組を鑑賞し、感想や意見を交換する 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること １２　社会的養護③ 里親制度について講義し、今日的課題についてディスカッションする 学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：参考書等で関連事項の内容を学習すること

	１３　　　　社会的養護④ 　　　　　　里親制度に関係するテレビ番組を鑑賞し、感想や意見を交換する 　　　　　　学習課題　復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 　　　　　　　　　　　予習：レポート作成の準備をすること １４　　　　社会的養護⑤ 　　　　　　社会的養護をテーマにレポートを作成し提出する 　　　　　　学習課題　復習：これまでの講義の内容を再度振り返って理解を深めておくこと 　　　　　　　　　　　予習：まとめの発表を準備すること １５　　　　まとめ 　　　　　　子ども家庭福祉の今日的課題について論じ、学習したことをどのように実践に活かしているか発表する 　　　　　　学習課題　復習：発表の内容を振り返って理解を深めておくこと 　　　　　　　　　　　予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①子どもの貧困について説明できる。 ②児童虐待について説明できる。 ③社会的養護について説明できる。 ④子ども家庭福祉の今日的課題について具体的に論ずることができる。 ⑤子ども家庭福祉の今日的課題を意識して保育実践に活かすことができる。 子どもの貧困、児童虐待、社会的養護という３つのテーマを柱に講義とディスカッションを行い、それぞれのテーマ毎に提出を求めるまとめのレポートで評価する。 ①達成目標に関する理解度を３本のレポートで評価する（６０％） ②参加意欲（４０％）
教科書・参考書	必要な資料については、授業にてプリントを配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	子どもの福祉に関する報道等へ常に関心を向けてほしい。